

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	116	学校名	仙台市立南吉成小学校	校長名	黒川 利香
------	-----	-----	------------	-----	-------

1. 南吉エコ活動（エコフェスティバル・全校奉仕の日・環境美化委員会の取組）



2. 取組の紹介

○エコフェスティバル（児童会行事）

児童会行事のエコフェスティバルが7月14日に行われました。3年生以上の各学級が、2～3グループに分かれて、遊べるお店を開き、全校みんなで楽しむ本校伝統のお祭りです。ゴミを出さないように、リサイクルできる材料を使ってお店を作ることを意識してきたので、児童の「エコ」の意識も高まってきました。どの学級も、アルミ缶やペットボトルキャップなど身近な材料を使って楽しめるお店を一生懸命考えていました。その成果もあり、当日は、全校児童が生き生きとした様子で活動に参加していました。



○全校奉仕の日（落ち葉集め・除草作業）

11月初旬に「全校奉仕の日」の活動として、全職員と全校児童が、校地内の落ち葉集めや除草作業、ゴミ集めをしました。学年ごとに、学年花壇やその周辺、全校花壇、校庭周り、学校門周辺などを分担して活動に取り組みました。どの学年も意欲的に取り組みました。



○環境美化委員会の取組

学校の環境や、全校児童の意識改善のために、学校花壇の手入れ、お世話を行うとともに、節水や節電の呼びかけも行いました。節水や節電の意識をさらに高めるために、各学年の手洗い場に、作成したポスターを掲示しました。どんな児童が見ても分かるように、文字や表現を工夫しました。



○取組の成果

エコフェスティバルでは、低学年の児童が、いつも捨ててしまう物や身近な物を使って楽しく遊ぶことができるという気づきを得ることができました。このことから、お店を出す側の意図がきちんと伝わっていることが分かりました。エコの伝統が高学年から低学年へとしっかり引き継がれています。また、エコフェスティバルを経て、児童の遊び道具への意識の変容も見られました。

全校奉仕の日の取組では、大量に集まった落ち葉や草、ゴミを見て、充実感を得ている児童が多く見られました。活動後は、普段から学校をきれいに使っていきたいという感想を持つ児童が多く、校舎内外問わず、掃除やゴミ拾いを行う児童が見られました。

環境美化委員会の活動では、ポスターを見た児童が、お互いに声を掛け合う様子が見られ、教室の電気を消したり、水道をこまめに止めたりする児童が増えました。